



2021年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年4月5日

上場会社名 キューピー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2809 URL <https://www.kewpie.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 長南 収
 問合せ先責任者 (役職名) 経営推進本部長 (氏名) 北川 岳史 TEL 03-3486-3331
 四半期報告書提出予定日 2021年4月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年11月期第1四半期の連結業績（2020年12月1日～2021年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年11月期第1四半期	94,088	△29.3	6,324	23.9	6,604	24.9	4,518	76.8
2020年11月期第1四半期	133,141	3.8	5,105	△15.3	5,286	△17.5	2,556	△27.0

(注) 包括利益 2021年11月期第1四半期 6,055百万円 (110.2%) 2020年11月期第1四半期 2,880百万円 (7.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年11月期第1四半期	31.68	—
2020年11月期第1四半期	17.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年11月期第1四半期	376,336	262,485	63.7
2020年11月期	451,723	285,377	53.0

(参考) 自己資本 2021年11月期第1四半期 239,643百万円 2020年11月期 239,532百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年11月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2021年11月期	—	—	—	—	—
2021年11月期（予想）	—	20.00	—	25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年11月期の連結業績予想（2020年12月1日～2021年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	400,000	△24.7	26,400	△6.7	27,800	△4.1	15,000	31.8	104.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）、除外 1社（社名）株式会社キューソー流通システム
（注）詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表および主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（企業結合等関係）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年11月期1Q	150,000,000株	2020年11月期	150,000,000株
② 期末自己株式数	2021年11月期1Q	7,974,076株	2020年11月期	6,959,200株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年11月期1Q	142,635,869株	2020年11月期1Q	143,041,867株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表および主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(企業結合等関係)	8
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2021年11月期から4年間を対象とする中期経営計画では、「持続的成長を実現する体質への転換」をテーマに3つの経営方針「利益体質の強化と新たな食生活創造」「社会・地球環境への取り組みを強化」「多様な人材が活躍できる仕組みづくり」に取り組んでいます。

当第1四半期連結会計期間における当社グループは、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況が続いています。国内では1月に発出された2度目の緊急事態宣言による影響から引き続き内食需要が堅調に推移し、家庭用商品の販売が伸長する一方、業務用商品では外食需要が回復せず販売が減少しました。

また、当年1月に連結子会社であった株式会社キューソー流通システムの株式の一部売却により、当第1四半期連結会計期間から持分法適用関連会社へ移行したことで、売上高351億31百万円減少、営業利益6億61百万円減少の影響が生じました。

・売上高

国内・海外ともに内食需要の高まりにより家庭用商品が伸長しましたが、物流事業の持分法適用関連会社への移行、国内での外食需要の落ち込みによる業務用商品の販売数量減少などの影響により、940億88百万円と前年同期に比べ△390億53百万円（△29.3%）の減収となりました。

・利益

販売費および一般管理費の抑制に努めたことや、家庭用商品の売上増加などにより、営業利益63億24百万円と前年同期に比べ12億19百万円（23.9%）、経常利益66億4百万円と前年同期に比べ13億18百万円（24.9%）の増益となりました。また、生産再編に伴う資産売却による特別利益を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益45億18百万円と前年同期に比べ19億62百万円（76.8%）の増益となりました。

◇ セグメント別の状況

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しています。

- ・国内の「調理・調味料」「サラダ・惣菜」「タマゴ」は「市販用」「業務用」へ再編
- ・「調理・調味料」に含まれていた海外部分を分離し、「海外」を新設
- ・「物流」は持分法適用関連会社へ移行

以下は前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しています。

[売上高の内訳]

(単位：百万円)

	前第1四半期 (自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)	当第1四半期 (自 2020年12月1日 至 2021年2月28日)	増減 (金額)	増減 (比率)
市販用	39,124	40,872	1,748	4.5%
業務用	38,922	33,861	△5,061	△13.0%
海外	12,040	12,121	81	0.7%
フルーツソリューション	3,642	3,847	205	5.6%
ファインケミカル	1,710	1,938	228	13.3%
共通	2,569	1,447	△1,122	△43.7%
物流	35,131	—	△35,131	—
合計	133,141	94,088	△39,053	△29.3%

[営業利益の内訳]

(単位：百万円)

	前第1四半期 (自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)	当第1四半期 (自 2020年12月1日 至 2021年2月28日)	増減 (金額)	増減 (比率)
市販用	2,191	4,155	1,964	89.6%
業務用	2,321	1,462	△859	△37.0%
海外	1,086	1,862	776	71.5%
フルーツソリューション	△59	32	91	—
ファインケミカル	△8	△168	△160	—
共通	334	291	△43	△12.9%
全社費用	△1,421	△1,312	109	—
物流	661	—	△661	—
合計	5,105	6,324	1,219	23.9%

<市販用>

- ・新型コロナウイルス感染症拡大による内食需要の高まりを受け、主力商品を中心に売上高が伸長したことにより増収
- ・売上増加や販売費および一般管理費の抑制に努めたことにより増益

<業務用>

- ・緊急事態宣言の発出による外食を中心とした需要減少が影響し減収減益

<海外>

- ・前年度実施した北米タマゴ事業譲渡の影響があったものの、中国・東南アジアの売上増加により増収増益

<フルーツ ソリューション>

- ・家庭用ジャム・スプレッドの伸長により増収増益

<ファインケミカル>

- ・通信販売においてヒアルロン酸のサプリメントやスキンケア商品が好調に推移し売上増となったが、広告宣伝を強化したことにより増収減益

<共通>

- ・食品メーカー向け製造機械の売上減少により減収減益

(2) 財政状態に関する説明

◇ 総資産、負債、純資産の状況

- ・総資産は、3,763億36百万円と前連結会計年度末に比べ753億87百万円減少
主に受取手形及び売掛金、建物及び構築物、機械装置及び運搬具、土地の減少、投資有価証券の増加による
- ・負債は、1,138億50百万円と前連結会計年度末に比べ524億96百万円減少
主に支払手形及び買掛金、流動負債のその他に含まれる未払費用、長期借入金の減少による
- ・純資産は、2,624億85百万円と前連結会計年度末に比べ228億92百万円減少
主に自己株式の取得、非支配株主持分の減少による
また、当年1月に連結子会社であった株式会社キューソー流通システムの株式の一部売却により、当第1四半期連結会計期間から持分法適用関連会社へ移行したことで、総資産1,027億11百万円、負債616億67百万円が減少しています。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年1月7日に公表した連結業績および配当予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表および主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	56,835	53,830
受取手形及び売掛金	73,783	56,092
有価証券	10,000	10,000
商品及び製品	16,214	16,808
仕掛品	1,398	1,188
原材料及び貯蔵品	9,609	9,724
その他	6,696	3,992
貸倒引当金	△523	△119
流動資産合計	174,012	151,517
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	191,496	158,742
減価償却累計額	△110,485	△90,812
建物及び構築物（純額）	81,011	67,930
機械装置及び運搬具	183,338	147,707
減価償却累計額	△121,934	△103,781
機械装置及び運搬具（純額）	61,403	43,925
土地	52,503	31,119
建設仮勘定	5,352	1,326
その他	29,353	17,921
減価償却累計額	△17,823	△11,638
その他（純額）	11,530	6,283
有形固定資産合計	211,802	150,586
無形固定資産		
のれん	2,014	701
その他	11,497	11,127
無形固定資産合計	13,512	11,828
投資その他の資産		
投資有価証券	27,110	43,431
退職給付に係る資産	9,601	9,537
その他	15,873	9,578
貸倒引当金	△188	△143
投資その他の資産合計	52,396	62,404
固定資産合計	277,710	224,819
資産合計	451,723	376,336

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,828	32,590
短期借入金	12,153	13,260
未払法人税等	3,901	2,691
引当金	2,781	4,459
その他	25,709	20,499
流動負債合計	86,373	73,501
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	51,861	16,810
退職給付に係る負債	3,619	2,827
資産除去債務	1,218	219
その他	13,274	10,492
固定負債合計	79,973	40,349
負債合計	166,346	113,850
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,104	24,104
資本剰余金	28,647	28,632
利益剰余金	201,492	203,141
自己株式	△15,865	△18,252
株主資本合計	238,379	237,625
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,882	9,148
繰延ヘッジ損益	△4	15
為替換算調整勘定	△3,408	△2,976
退職給付に係る調整累計額	△4,315	△4,169
その他の包括利益累計額合計	1,153	2,018
非支配株主持分	45,844	22,842
純資産合計	285,377	262,485
負債純資産合計	451,723	376,336

(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年2月28日)
売上高	133,141	94,088
売上原価	102,985	64,600
売上総利益	30,155	29,487
販売費及び一般管理費	25,049	23,163
営業利益	5,105	6,324
営業外収益		
受取利息	43	28
受取配当金	187	147
持分法による投資利益	52	101
受取保険金	101	6
その他	154	219
営業外収益合計	539	504
営業外費用		
支払利息	90	60
開業費	33	69
未稼働設備関連費用	105	2
その他	128	92
営業外費用合計	359	224
経常利益	5,286	6,604
特別利益		
固定資産売却益	9	416
関係会社株式売却益	—	289
投資有価証券売却益	2	1
その他	—	41
特別利益合計	11	748
特別損失		
固定資産除却損	350	161
固定資産売却損	1	64
退職給付制度終了損	168	—
減損損失	49	—
その他	56	16
特別損失合計	627	242
税金等調整前四半期純利益	4,670	7,110
法人税等	1,621	2,118
四半期純利益	3,049	4,992
非支配株主に帰属する四半期純利益	492	474
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,556	4,518

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2019年12月1日 至 2020年2月29日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2020年12月1日 至 2021年2月28日）
四半期純利益	3,049	4,992
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,475	266
繰延ヘッジ損益	△4	25
為替換算調整勘定	948	613
退職給付に係る調整額	361	132
持分法適用会社に対する持分相当額	—	24
その他の包括利益合計	△168	1,063
四半期包括利益	2,880	6,055
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,246	5,383
非支配株主に係る四半期包括利益	633	672

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

事業分離

当社は、2021年1月7日の取締役会決議により、当社の連結子会社である株式会社キユーソー流通システム（以下、「KRS」）の株式の一部を売却することを決定し、2021年1月18日に立会外分売により株式譲渡を行いました。これに伴い、KRSおよび同社の子会社である下記14社（以下、「KRSグループ」）は、当第1四半期連結会計期間の期首より当社の連結子会社から持分法適用関連会社へと変更になりました。

- | | |
|--------------------|----------------------------------|
| 1. キユーソーティス株式会社 | 8. キユーソーアレスト株式会社 |
| 2. 株式会社エスワイプロモーション | 9. 株式会社フレッシュデリカネットワーク |
| 3. キユーソーサービス株式会社 | 10. 株式会社久松運輸 |
| 4. キユーソーロジック株式会社 | 11. PT Kiat Ananda Cold Storage |
| 5. 株式会社サンエー物流 | 12. PT Ananda Solusindo |
| 6. 株式会社サンファミリー | 13. PT Manggala Kiat Ananda |
| 7. 大阪サンエー物流株式会社 | 14. PT Trans Kontainer Solusindo |

1. 事業分離の概要

(1) 分離先企業の名称

立会外分売のため、記載を省略します。

(2) 分離した事業の内容

連結子会社	株式会社キユーソー流通システムおよび同社の子会社14社
事業の内容	倉庫業および運送取扱業

(3) 事業分離を行った主な理由

KRSは、1966年に当社の倉庫部門を母体に設立以来、高品位で競争力のある食品物流サービスの提供を通じて、当社グループの事業展開に貢献しました。

近年、食品および物流を取り巻く事業環境が大きく変化するなか、当社およびKRSの今後の事業展開について、両社のさらなる成長を見据え検討を重ねました。

その結果KRSにおいては、当社との親子関係を解消し迅速な意思決定と戦略的投資の主体的判断を可能としたうえで、これまでの国内での食品向け総合物流サービスの提供をさらに向上させること、また海外での拡大を積極的に展開し従来以上に独自性を持った成長戦略を推し進めることが、企業価値向上に資するとの考えに至りました。

一方、当社においては「めざす姿」（※注）の実現に向けて、国内・海外の食品事業に経営資源の一層の集中を進めることが将来にわたる企業価値の向上に資すると判断しました。

以上を鑑み、KRS株式の一部売却を行うこととしましたが、当社とKRSは引き続き商品の製造からお届けまでの一貫した物流品質の考え方を共有するとともに、KRSは当社グループの物流を担います。

今後も、食品製造と物流機能において強固なパートナーシップを維持し、両社の持続的な企業価値向上に努めます。

（※注）私たちは「おいしさ・やさしさ・ユニークさ」をもって、世界の食と健康に貢献するグループをめざします

(4) 事業分離日

2021年1月18日（株式譲渡実行日）

2020年12月1日（みなし譲渡日）

(5) 法的形式を含む取引の概要

受取対価を現金等の財産のみとするKRSの発行済株式の一部譲渡

(6) 譲渡株式数および譲渡後の所有株式の状況

譲渡株式数 253,600株
 譲渡後の所有株式数 5,420,402株（議決権所有割合：43.6%）

2. 実施した会計処理の概要

(1) 移転損益の金額

関係会社株式売却益 289百万円

(2) 移転した事業に係る資産および負債の適正な帳簿価額ならびにその主な内訳

流動資産	32,347百万円
固定資産	70,363百万円
<u>資産合計</u>	<u>102,711百万円</u>
流動負債	32,314百万円
固定負債	29,352百万円
<u>負債合計</u>	<u>61,667百万円</u>

(3) 会計処理

KRSグループの連結上の譲渡持分に係る帳簿価額と譲渡価額との差額を関係会社株式売却損として処理するとともに、過年度において当社および当社の連結子会社がKRSに売却した土地の未実現利益のうち本株式譲渡により実現した利益を関係会社株式売却損益の修正として処理した結果、「関係会社株式売却益」として特別利益に計上しています。

3. 分離した事業が含まれていた報告セグメント

物流事業

4. 当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に計上されている分離した事業に係る損益の概算額

持分法による投資利益 79百万円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2019年12月1日 至 2020年2月29日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	市販用	業務用	海外	フルーツ ソリューション	ファイン ケミカル	物流	共通	合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
売上高										
外部顧客への 売上高	39,124	38,922	12,040	3,642	1,710	35,131	2,569	133,141	—	133,141
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	163	1,169	181	216	104	7,661	2,453	11,951	△11,951	—
計	39,288	40,091	12,222	3,858	1,814	42,793	5,023	145,092	△11,951	133,141
セグメント利益 又は損失(△)	2,191	2,321	1,086	△59	△8	661	334	6,526	△1,421	5,105

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,421百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自2020年12月1日至2021年2月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	市販用	業務用	海外	フルーツ ソリューション	ファイ ンケミカル	共通	合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
売上高									
外部顧客への 売上高	40,872	33,861	12,121	3,847	1,938	1,447	94,088	—	94,088
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	174	1,227	95	45	105	2,682	4,331	△4,331	—
計	41,047	35,089	12,216	3,892	2,044	4,129	98,419	△4,331	94,088
セグメント利益 又は損失(△)	4,155	1,462	1,862	32	△168	291	7,636	△1,312	6,324

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,312百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、2021年度からの4年間を対象とする中期経営計画に基づき、お客様や市場のニーズ、環境変化に対応するために事業担当制から市場を軸とした体制に移行したため、報告セグメントも以下のとおり変更しています。

事業区分の変更

- ・国内の「調理・調味料」「サラダ・惣菜」「タマゴ」は「市販用」「業務用」へ再編
- ・「調理・調味料」に含まれていた海外部分を分離し、「海外」を新設
- ・「物流」は持分法適用会社へ移行

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しています。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。